



【校訓】 自立 不屈 進取

平成30年度

5月号

H30.5.25発行

感謝の気持ちをことばや態度に

校長 前田 浩二

1年生集団宿泊学習の出発式の時に、「これからの2日間は、多くの方々にお世話になります。感謝の気持ちを必ずことばにしてください。」という話をしました。

そして、翌日の解散式の時に、「感謝の気持ちをことばにできましたか？」と問うと、多くの生徒が大きくなずいていました。その様子にうれしく思うことでした。

県外から鹿児島島に来た人から次のようなことをよく言われます。「鹿児島島の子どもたちはすごいですね。横断歩道で止まってくれた車に振り返っておじぎをするんですね。私の住んでいたところでは、誰もおじぎなんてしませんでした。」

そんな話を聞くと、鹿児島島の子どもたちには、礼儀正しくし、感謝の気持ちをことばや態度できちんと表す文化が、しっかりと残っているんだと改めて感じることでした。では、立神の生徒たちはどうでしょうか？

毎朝、交差点を渡る様子を見る限り、7割ぐらいの生徒は、止まってくれた車に振り返っておじぎをしています。日によって、おじぎをしたりしなかったりということはなく、おじぎをする生徒はいつもするし、しない生徒はいつもしません。きっと、おじぎをする生徒は、自分がしてもらったことに対し、いつもおじぎをしたり、お礼を言ったりしているのでしょう。その一方で、おじぎをしない生徒は、そういう習慣がないのかもしれない。

「ありがとう」ということばやおじぎをする行動は、徐々にその人自身に謙虚さや思いやり、優しさ、温かさといった心を育んでいきます。つまり、ことばや行動は心をつくります。学校、家庭を問わず、自分がしてもらった日常のちょっとした行為や毎日繰り返されているため気付いていない行為（例えば食事づくり）に対し、その都度感謝のことばや態度を表すように、繰り返し教えていきましょう。恥ずかしさが先に立ちがちな中学生だからこそ、大事なことでないでしょうか。

立神の如く

くおかげさんやっど>

3年主任・英語担当 内村健二

そう語ってくれたのは、大好きだった私のじいちゃんとはあちゃんです。私の祖父は警察官であったこともあり、厳格な性格から「じいちゃんは怖い」というイメージ。当時、退職して20年近く経つのに、その威厳はいささかも衰えておら

ず、あいさつや言葉遣い、細かくは箸の持ち方まで教えてもらいました。一方、ばあちゃんとはというと、裁縫と料理が上手でとても優しい人でした。じいちゃんに叱られたときは、よくばあちゃんになだめてもらっていました。

祖父母と同居はしていなかったのですが、月に半分ぐらいの割合で、土曜日の部活動の練習を終えると、家で着替えをバッグに詰めてそのまま自転車で祖父母の家に泊まりに行っていました。大崎町の菱田橋を渡って細い路地を通り過ぎ、小さなカーブを曲がると祖父母の家が見えてきます。

なぜ、そんなによく祖父母の家に泊まりに行っていたのか、それにはいくつかの理由があります。

- 1 ばあちゃんが作ってくれる甘いものが食べたい（しょう油餅、きなこ餅、おはぎ、こんがりドーナツ、練乳たっぷりトースト）
- 2 ばあちゃんが外から「湯加減はどうね？」と言いながら沸かしてくれる五右衛門風呂に入りたい
- 3 じいちゃんが語ってくれる歴史のこぼれ話を聞きたい

1について

餅が大好きな私のために作ってくれるばあちゃんの餅シリーズ、これは最高の味でした。やわらかいつきたての餅に、甘いしょう油だれや小豆のあんこがベストマッチ！最近、ばあちゃんのおはぎに限りなく近いおはぎをタイヨーで見つけました。こんがりドーナツ、垂れてくる練乳をなめながら食べたトーストも忘れられません。

2について

今思うと、こわごわと丸い板に乗ってつかるとドキドキ感と、外からばあちゃんが薪を焚きながら温度調節をしてくれる何ともぜいたくな風呂に入らせてもらっていたんだなあ〜と感じます。

3について

横瀬古墳の近くで生まれ育ったじいちゃんは、私にとって歴史の先生でした。中学校で習った歴史のことをじいちゃんに話すと、それにまつわる「こぼれ話」がついてきました。「じいちゃん、それ本当なの？」と尋ねると、「ほんのこっぴやがあ〜！（本当のことだよ）」と言いながらのじいちゃんの微笑みが思い出されます。

他界したじいちゃんとはあちゃんがよく話していた言葉、「おかげさんやっど」。

自分と関わってくれるすべての人に対して、だれもが“おかげさんやっど”の気持ちをもてたとしたら、この世の中、何とも住みよい社会になっていくのではないかと思います。

休みの日、みなさんのじいちゃんやばあちゃんに「立中の学校生活」の話をしてみてください。できたらみなさんの“とびきりの笑顔”を添えて！きっと、じいちゃん、ばあちゃんにとって最高の時間になると思います。

図書館体験ボランティア — 4月28日 —

こどもの読書週間の事業の一環として市立図書館が行った事業に3年生2名が参加し、POP作成や書架整理を体験しました。始めて知る図書館の業務に関心を新たにしたり、今後もボランティア活動に取り組んでみたいと興味をもったりしたようでした。



校外学校行事ウィーク — 5月14日～18日 —

5月第3週の1週間は、「校外学校行事ウィーク」。普段の学校生活では体験できない学習活動を通して集団の一員としての連帯感を深め、一人一人が自分自身の生き方について考えた一週間でした。

食の学習、集団宿泊学習【1年生】

14日(月)、枕崎市漁協、枕崎水産加工業協同組合にご協力いただき、カオ漁や鰹節作りについて学びました。地域の産業を改めて知り、郷土の素晴らしさに触れる機会になりました。また、集団宿泊学習では1泊2日の日程で、万世特攻平和記念館・セイカ日置工場の見学、南薩少年自然の家での切り絵やフォトアドベンチャーを行いました。全員で楽しく多くの交流をして心のつながりと団結力を高めることができました。



修学旅行【2年生】 長崎、福岡、熊本を2泊3日で巡りました。平和学習では班別自主研修を行い、73年前の長崎の町、人々の惨状を知り中学生として今なすべきことは何かを考えるきっかけを得ました。防災学習では、地震、火災等の災害時における危険回避・対応力を身に付け、ミュージカル鑑賞では美しい舞台に感動しました。様々な体験活動により、一人一人の世界も広がった修学旅行でした。



職場体験学習【3年生】

鰹節工場体験学習、職場体験学習、鹿児島情報高校体験学習を行いました。13の鰹節工場、22の事業所、高等学校のご協力、ご支援をいただき、たいへん貴重な体験ができた1週間でした。自分自身の将来や働くということについて考えを深めることができました。これからの進路選択・決定に大いに役立てていきます。



【6月の主な教育活動】

- 1日(金) 英語検定
- 6日(水) 高校説明会(～7日)
- 9日(土) 校内弁論大会
- 12日(火) 地区総合体育大会
- 13日(水) SC来校(午前)
- 15日(金) 青パトの日
- 18日(月) 朝の声かけ(3-2)
- 20日(水) 期末テスト(～22日(金))
- 22日(金) 朝の声かけ(3-2)
- 25日(月) 5・6校時カット(小中合同研修会)

